

博士学位論文審査公開発表会

日 時：平成26年2月19日（水） 11：00～

場 所：新研究棟2階 大会議室

発表者：大谷 圭介

**タイトル：声区転換部を含むオペラ歌唱の音響的特性
—スペクトル変動を題材として—**

概 要：本学位申請論文は、オペラ歌唱における声区転換部の音響的特性を明らかにする事を目標に行った実証実験的研究について論述したものである。卓越した歌手とそうでない比較的未熟な歌手とでは、声区転換部に関わる音のスペクトルの概形にどのような違いが存在するのか、またその違いはどのようなものなのか、この点を明らかにすることが本研究の目的の一つである。

論文全体の構造は全5章構成で、第1章と第2章が本論に関する予備知識及び基盤となっている事項、第3章と第4章が実験内容、第5章が総合考察である。

プロのオペラ歌手のフォルマン周波数のピーク域は、プロでない学生の歌手に比べて極めて狭い周波数帯に収まっている事、また、スペクトル変動率の小さな歌唱ほど高評価を得られる事、歌いだしの第一音が安定するまでの時間と他の音が安定するまでの時間の割合が評価と相関性がある事、その割合が小さいものに対して歌唱全体の評価がなされる事などが判明した。